

平成 26・27 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査  
における「いじめ」に関する調査の結果（高知県）について

1 いじめの認知件数 (単位：件)

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合 計	
	認知 件数	1,000人当 たりの認知件数								
H27	775	22.8	392	25.3	144	10.2	4	5.1	1,315	20.4
H26	220	6.4	284	17.8	161	11.0	3	3.8	668	10.2
前年度 比較	+555	+16.4	+108	+7.5	-17	-0.8	+1	+1.3	+647	+10.2

2 1,000人当たりのいじめの認知件数（国公立学校における高知県と全国との比較）

	高知県	国公立	全国	国公立
	H27	18.2	⑭	16.4
H26	9.4	㉓	13.7	
前年度比較	+8.8		+2.7	

(単位：件)

※丸数字は全国比較で、1,000人当たりの認知件数が高い方からの順位である。

3 いじめの現在の状況

		解消 しているもの		一定解消し 継続支援中		解消に向けて 取組み中		他校への転学、 退学等		計 (件)
		(件)	割合(%)	(件)	割合(%)	(件)	割合(%)	(件)	割合%	
小学校	H27	647	83.5	104	13.4	22	2.8	2	0.3	775
	H26	164	74.5	42	19.1	13	5.9	1	0.5	220
中学校	H27	332	84.7	55	14.0	4	1.0	1	0.3	392
	H26	210	73.9	48	16.9	22	7.7	4	1.4	284
高等学校	H27	114	79.2	17	11.8	3	2.1	10	6.9	144
	H26	151	93.8	7	4.3	2	1.2	1	0.6	161
特別支援学校	H27	3	75.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	4
	H26	2	66.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0	3
合 計	H27	1,096	83.3	177	13.5	29	2.2	13	1.0	1,315
	H26	527	78.9	98	14.7	37	5.5	6	0.9	668

※ 国公立学校の表記がないものについては、全て高知県内公立学校の数値等である。

4. いじめの態様におけるネット上の誹謗中傷の件数

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	H27	9	35	25	0	69
	H26	1	21	18	0	40

本県では、平成 27 年度も公立学校において、いじめに関する校内研修や、全ての小・中学校・高等学校で「いじめアンケート」が実施されている。また、それ以外にも、教職員間の情報共有や、授業、学級活動等での児童生徒の観察等に組織的に取り組んでいる。このような取組を通して、教職員のいじめ問題に対する意識の高まりが、日々アンテナを高くすることにつながり、いじめの認知件数の上昇につながっていると考える。

ほとんどのいじめに対して比較的軽微なうちに対応できており、その解消率も高くなっているが、いじめはどこでも誰にでも起こりうるという認識のもと、解消後の経過観察等も含め継続した取組が重要である。

また、いじめの認知件数のうち、携帯電話等（ネット上）での誹謗中傷が学校種を問わず増えており、ネットモラルの啓発や実効性のある取組が今後さらに必要である。ネット上のいじめは潜在化しやすく、実態把握が難しいため、この件数も氷山の一角であると考えるのが妥当である。